

阿賀野市立吉田東伍記念博物館

友の会通信

2014-2015

No.2 (通巻71号)

2015.3.1発行

■ 目次 友の会会長巻頭言 / 企画展示と関連イベント …………… 1 会員随想 / 友の会伝言板 / 編集後記 …………… 2

発行：吉田東伍記念博物館友の会 〒959-2221 阿賀野市保田1725-1 (阿賀野市立吉田東伍記念博物館内)
TEL 0250-68-1200 FAX 0250-68-5016 web版友の会通信 <http://wind.ap.teacup.com/togo/>

博物館HP http://www.city.agano.niigata.jp/togo_museum/index.html E-mail y.togo@oregano.ocn.ne.jp

博物館と友の会 ～郷土の文化振興のために～

吉田東伍記念博物館友の会会長 長谷川 明 一

早春の候、友の会会員の皆様、そして、御家族の皆様におかれましてはお健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。年度のおわりにあたって、友の会活動への御支援・御協力に心から感謝申し上げます。

早いもので友の会も発足以来17年を迎えました。5周年、10周年、15周年の節目に際し、活動を振り返り、さらに充実を図るために、様々な記念行事を企画・実施してきました。その時々に関係各位、関係団体・諸機関から多くの御助言や御協力を賜り、年を重ねる毎に友の会活動の充実を図ることができました。常々感謝いたしております。

友の会活動を今日まで継続してきた原動力は、阿賀野市はもちろんのこと、阿賀北全域においても存在を誇れる阿賀野市立吉田東伍記念博物館があったからこそ。そこに有益な価値を見出し、進んで博物館を支援すべく友の会活動に参画し、地理・歴史・文化・社会に関する教育文化施設の結晶たる博物館の存在意義に共感し依拠してきたたまものです。来たる平成30年度の友の会設立20周年に向けて、会員相互の親睦を図り、関係機関・他団体との連携・協力を市民から得られるように進めていきたいと考えておりますので、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

去る1月25日に「ちあきの会」(新潟市秋葉区)の新年交流会にお招きいただきました。その席上で同会の新藤幸生会長より、「千秋100年物語」と題した事業を新年度に行うことが発表されました。今年、大正4年(1915)に吉田東伍の次男・吉田千秋が「琵琶湖周航の歌」の原曲「ひつじぐさ」を雑誌『音楽界』に掲載してから100年を迎えます。現在計画が進められているようですが、この機会を通して、両会の連携・協力が進んでいくものと期待しています。

阿賀野市立吉田東伍記念博物館企画展示

『災害史研究のパイオニア「貞観地震・津波」の最初の研究者 吉田東伍』

会 期：平成27年 3月7日(土)～4月12日(日)

入館料：一般300円／小・中学生150円。友の会会員は無料。

関連イベント

吉田東伍記念博物館友の会

第15回研究発表会&ギャラリートーク

平成27年 3月22日(日) 14:00～15:30

発 表 者：田中洋史さん(吉田東伍記念博物館友の会会員、長岡市立中央図書館文書資料室主査)

発表テーマ：吉田東伍の災害史研究に学ぶ～中越大震災・東日本大震災の記録と記憶～

山形県無形民俗文化財「山戸能」と「山五十川歌舞伎」を訪ねて

友の会副会長 百都政弘

友の会では、昨年の11月28日、二度目の山形県鶴岡市の山五十川（やまいらがわ）地区に伝わる能と歌舞伎を見学しました。

山戸（やまと）能、山五十川歌舞伎は、山五十川の鎮守「河内神社」の例大祭に上演・奉納されます。地域に伝わる文献では、貞観8年（886年）頃に伝えられた説と、寛永年間（1624-1644年）に伝えられた説があり、詳しいところは定かではないということです。

昨年は5月3日に神社に奉納上演されており、8月23日に夕日能が道の駅「あつみ」（しゃりん）で上演されています。市や県でもそれなりに注目をしているようで、いろいろと予算をつけ、支援をしていることが感じられました。

演目は、山戸能「座揃囃子」「恋慕の舞」「式三番」、山五十川歌舞伎「奥州安達ヶ原袖萩祭文の場」で、先回の鑑賞でも感動したのですが、今回は能も歌舞伎もさらにすばらしくなっており、地元の人でも大変な努力をがんばっていることを実感しました。こんな世界があるのだと、多くの若い人たちから見てもらいたいと思いました。

演目を見ると難しそうですが、山戸能、山五十川

歌舞伎を見ると、簡単な解説文を読むだけで内容がわかり、自分も日本人なんだと再確認しました。

地元の幼稚園から小中学校までの子供たちが見学に来ており、親がこのようにしてやるのが大事な教育なんだと思いました。

この研修旅行から、多くの子供たちを吉田東伍記念博物館に連れてきてもらい、吉田東伍が取り組んだ「大日本地名辞書」「世阿弥」「貞観地震」のこと、さらに吉田千秋の「ひつじぐさ」（「琵琶湖周航の歌」の原曲）、旗野十一郎作詞の小学唱歌「港」等を子供たちに伝えてやり、この地域を大切にすることに繋がらないかと友の会研修旅行の参加者は思ったのではないのでしょうか。



▲山五十川歌舞伎



▲山戸能

※撮影：百都政弘

…… 友の会伝言板 …… 事務局より

① 総会のお知らせ

平成27年度総会は、5月24日（日）午後開催します。会場は市立吉田東伍記念博物館です。詳細は後日お知らせします。

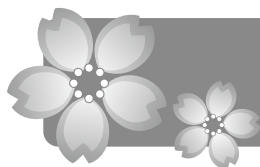
② テレビ番組「吉田東伍生誕150年スペシャル 地震津波に備えよ～知の巨人 1906年の警告～」(UX新潟テレビ21)が昨年12月31日(水)に放送されました。3月7日からの企画展示では、先駆者として再評価が進む吉田東伍の災害史研究に関する資料が展示されます。

③ 新年度に向けて新規会員を募集しています！

ご近所、お友だち、ご家族に入会のお声がけをお願いします。

④ 原稿を募集しています！

『友の会通信』の「会員の研究ノート」「会員随想」「友の会伝言板」のコーナーへの投稿をお待ちしています。詳しくは友の会事務局までお問い合わせください。



編集後記

2月15日（日）、今後の友の会活動を検討する運営委員会が開催されました。長谷川会長の巻頭言のとおり、新年度は友の会の「これまで」と「これから」を考える大事な一年になりそうです。

(H・T)